

高齢者歯科医療講習会 (ハイブリッド開催)

- ◆日時 令和7年2月16日(日) 10時00分～12時20分
- ◆会場 静岡県歯科医師会館 5F「501大会議室」
- ◆対象 歯科医療従事者、多職種等
- ◆定員 会場：60名



演題 (120分)

「難症例時代に使える総義歯治療の知恵と技」

講師 古屋 純一 先生

(昭和大学歯学部 口腔健康管理学講座
口腔機能管理学部門 主任教授)

- 1996年 東京医科歯科大学歯学部歯学科卒業
- 2000年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科高齢者歯科学修了(歯学博士)
- 2005年 岩手医科大学歯学部歯科補綴学第一講座
- 2010年 岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座有床義歯補綴学分野 准教授
- 2013年 ハーバード大学歯学部留学
- 2014年 岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座 准教授
- 2015年 東京医科歯科大学大学院地域・福祉口腔機能管理学分野 教授
- 2021年 昭和大学歯学部高齢者歯科学講座 准教授
- 2023年 昭和大学歯学部口腔健康管理学講座口腔機能管理学部門 主任教授

【申込方法】 申込締切：令和7年2月12日(水)

本会ホームページ (<https://s8020.or.jp/>) または下記QRコードから
お申し込みください。

※会館での受講とWEB受講で申込フォームが異なりますのでご注意ください。

会場受講申込み



<https://ar.paps.jp/d3VeV>

WEB受講申込み



<https://ar.paps.jp/d3VeV>

高齢者歯科医療講習会 (ハイブリッド開催)

難症例時代に使える総義歯治療の知恵と技

古屋純一先生

外来と訪問で、日常的に有床義歯の患者さんを診ていると、いわゆる義歯の難症例が増えていることに気づきます。

高度顎堤吸収、すれ違い咬合、不安定な下顎位など、8020運動が一定の成功を得た今、有床義歯が必要になるのはインプラントができない症例です。さらに要介護状態にあり、咀嚼や嚥下の問題や、訪問診療での対応が必要になることも多いのが、現代の義歯治療です。限られた器材と時間、制約の多い環境の中で、私たちはどのように義歯難症例に向き合えばよいのでしょうか。

総義歯は、粘膜の上に義歯床と人工歯が乗っているだけであり、まさに難症例の代表的存在です。そのため、特別な道具や術式がもてはやされることもありますが、大事なことは「〇〇法」を使うことではなく、よい義歯のゴールが見えていることです。義歯治療はエラーの積み重ねですから、複雑な術式や優先順位の低いものにこだわらず、できるだけ最短ルートでゴールに近づける診療、また、できるだけシンプルな診療であるべきです。

そこで、この研修会では、よい総義歯の形態と咬合のルールを、しっかりと理解していただきます。実は、義歯の問題は「知恵」で解決できることが多いのです。その上で、明日からの臨床で使える「技」について、じっくり学んでいただきます。

フレイル予防、要介護の重症化予防が重要視される中、よい義歯で食べる楽しみを回復できるのは、歯科医師しかできない対応です。総義歯は究極のオーラルリハビリテーションです。総義歯ができれば、外来でも訪問でも義歯はもう怖くありません。皆様のご参加をお待ちしております。

【WEB受講に関して】

Zoomウェビナー登録完了後、下記①、②いずれかの方法で受講できます。

①登録完了後に届く確認メールに記載のここをクリックして参加をクリック

②受講日前日に届くリマインダーメールに記載のウェビナーに参加またはURLをクリック

※登録後、①の確認メールが届かない場合は、正しく申し込みができていない可能性がありますので、メールアドレスをご確認の上、再度お申込みください。

また、迷惑メールに分類されている可能性もありますのでご注意ください。

※本研修会に関する資料等は、②のリマインダーメールより閲覧可能とする予定

お願い

県歯会館の駐車場は手狭なため、お車でのお越しはご遠慮下さい。

(会館東側の静岡市静岡歯科医師会、近隣店舗には駐車しないで下さい)

主催：静岡県・一般社団法人静岡県歯科医師会

問合先：静岡県歯科医師会地域保健部・高齢期歯科専門部

TEL：054-283-2591

Email：tokusyusika@s8020.or.jp